

# 清友

## No.179

2024年7月  
(2024年7月5日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



白馬岳稜線に咲く  
ウリップソウ

## 第16回定期総会



**会員拡大を実現しよう!**  
**親睦行事を充実させよう!**  
**社会的課題に積極的参加を**

**新会長に岡澤徹さん**  
**新副会長に瀬瀬朗さん**



挨拶と会長と  
副会長と  
代読、佐藤副会長

吉田総会議長

6月14日、第16回定期総会を清掃会館で開催しました。会員の参加は23名、委任状の提出は54名。佐藤副会長の司会で開会、昨年の総会以降亡くなった若井忠晴さんをはじめ、自治退閑連の物故者を悼み、黙祷を捧げました。

総会議長に吉田雅明さんを

●自民党的政治に終止符を!  
丹野会長メッセージ  
病氣療養後の回復が思わしくなく、総会を欠席した丹野会長からのメッセージを佐藤副会長が代読、「自民党政治こそが日本社会の弊害。自民党的政治に終止符

選出、吉田さんは「都知事選は蓮舫さんの必勝を期したい。都民生活に不可欠な事業を切捨て、大企業ベッタリの再開発を進める小池都政を打ち破ろう」と力説しました。

を訴えられました。平和と人権は東京清掃の担うべき大きな課題。東京清掃多田委員長は、来賓挨拶で「諸先輩の皆さんに大変お世話になっていて感謝したい。コロナ禍で自粛が続いていたが、ようやく元に戻りつつある。青年部も増えており、日比谷メーデーの開催式典では東京清掃青年部が壇上を占めて壮観だった。来週、中執の一泊学習会を行う。染さんと押田さんを講師に、平和と人権の問題についてしっかり学習したい。平和と人権は東京清掃が担うべき大きな課題だと思っている。今年、19区と一組で93人の新規採用を獲得した。うち、女性が2人、運転と整備も採用できている。しかし、採用しても辞退者が出ている。魅力のある賃金水準と人事制度確立へ向け、全力を上げたい。また、災害支援対策のうえで、再直営化の▼2面へ続く

を」と訴えられました。平和と人権は東京清掃の担うべき大きな課題。東京清掃多田委員長は、来賓挨拶で「諸先輩の皆さんに大変お世話になっていて感謝したい。コロナ禍で自粛が続いていたが、ようやく元に戻りつつある。青年部も増えており、日比谷メーデーの開催式典では東京清掃青年部が壇上を占めて壮観だった。来週、中執の一泊学習会を行う。染さんと押田さんを講師に、平和と人権の問題についてしっかり学習したい。平和と人権は東京清掃が担うべき大きな課題だと思っている。今年、19区と一組で93人の新規採用を獲得した。うち、女性が2人、運転と整備も採用できている。しかし、採用しても辞退者が出ている。魅力のある賃金水準と人事制度確立へ向け、全力を上げたい。また、災害支援対策のうえで、再直営化の▼2面へ続く



東京清掃  
多田委員長

必要性を痛感している。都知事選では、東京清掃として蓮舫さん支援を組織決定した。これからも、引続きのご理解、ご支援をお願いしたい」と、決意の一端を示しました。

### 自治退都本部、都庁退、岸まきこ後援会が来賓挨拶



都本部退自治 岸まきこ後援会 都庁退連合会 中井副会長

全日本自治体退職者会東京都本部楠田会長は、「連合メンバーはひどかった。岸田が来たからと、入場する組合員の荷物検査をした。連合東京も小池を支持。個人的に蓮舫を応援する。かつて100万自治労建設が目標だったが、いまや70万を割った。現役組織が減少すると退職者会も厳しい」。

続いて、東京都庁職員退職者連合会中井副会長は、「7月10日の健康を考える学習会、9月27日の親睦交流バーベキューには是非参加したい。ジェンダー平等の立場から活動を進め、東京や関東甲の女性交流ネットワークなどの動きも始まっている。私たちの

なかまの組織を潰してきた小池知事を取り替えよう」。

岸まきこは総務委員会委員でマイナンバーや自治法改悪、政治資金規正法などで頑張っている。来年は参議院選、皆さんの応援を」と話されました。

### 報告と議案を拍手で承認 組織拡大実現は最大の課題

報告と議事に移り、経過報告と会計決算報告を戸枝事務局長、会計監査報告を小林監査が行い、24活動方針案を岡澤副会長、24会計予算案と旅費支給基準改正案を戸枝事務局長が提案しました。

活動方針と旅費基準について、小林守さんから「花見など天候に左右される行事は予備日を設定をすべき」、



経過と会計報告 戸枝事務局長



活動方針提案 岡澤副会長

岩田正隆さんから「旅費支給基準は定額制が最良、諸状況考慮のパターン化構造



岸まきこ後援会 軍司さん



フロアから発言 小林守さん



フロアから発言 岩田正隆さん

これに対し、戸枝事務局長は「屋外行事の予備日設定は必要と考えており、直近なのか一月程度先か、予約を伴うケースをどうするかなどの諸要素を考慮し検討中」、「旅費は支出を抑制するため実費主義としているが、定額制が究極の目標、いい案があったら知恵を貸してほしい」と答弁しました。各報告、議案は拍手で承認・決定されました。

### 新会長に岡澤徹さん

### 新副会長に瀨藤朗さん選出

今年の総会は役員改選期にあたり、役員増員を目指しましたが、実現せず、病



勇退した丹野会長 (22年12月撮影)

気療養後の回復に専念中の丹野会長が勇退し、新会長は岡澤徹

さん、副会長は留任の佐藤晋一さんと、新任の瀨藤朗さん、事務局長は戸枝章さんが留任、会計は戸枝事務局長が兼任、幹事は岩淵勝美さん、山岸治美さん、押田五郎さん、箱田修一さんが留任し、会計監査は穂戸田功さんと小林守さんが留任しました。



後半の司会担当 瀨藤副会長

### 岡澤新会長の音頭で元気に 団結カンパロウ

吉田議長の退任後、瀨藤新副会長が司会を担当、最後のセレモニーを進行。新三役・幹事が登壇（箱田さんは欠席）、岡澤新会長の音頭で元気に団結カンパロウを三唱し、第16回定期総会を終了しました。▼3面へ



東京清掃労働組合 退職者会 第16回定期総会 2024年6月

5年ぶりに清掃会館で懇親会



頭音の音 乾杯の音 元会 庄司

総会終了後 清掃会館で懇親会。実に5年ぶり。参加者は29名、会員22名、来賓2名（主税退、岸まきこ後援会）と東京清掃四役5名でした。

お寿司とオードブル、サンドイッチなどが並び、食べ切れないほど、飲物もふんだんにあり、いつものケチケチ路線とは様変わり、5年ぶりという事で少し豪華に。

あまりへべれけにならない



ように、名残り惜しみつつ2時半に閉会。居酒屋等ではなく、われらが拠点清掃会館での懇親会は、やっぱりいいものだなと、改めて思いました。



短い時間でしたが懇親会に参加した東京清掃四役 多田委員長 西村副委員長 坂部副委員長 渡辺書記長 萩原書記次長

◆24年度役員◆

- 会長 岡澤 徹
- 副会長 佐藤 晋一
- 副会長 瀨瀬 朗
- 事務局長兼会計 戸枝 章
- 幹事 岩渕 勝美
- 幹事 山岸 治美
- 幹事 押田 五郎
- 幹事 箱田 修一
- 会計監査 穂戸田 功
- 会計監査 小林 守
- 監査 北條 信治
- 顧問 庄司 隆男
- 顧問 丹野富士雄

東京清掃ボウリング大会 ベストメンバールで挑戦

6月1日、5年ぶりの東京清掃ボウリング大会が東京ドームで開催され、退職者会も参加しました。

転んでもただでは起きずにブービー賞（退職者会山柳）

開催内容は、従前と同様各地連選抜2チームに本部、青年部、退職者会が加わり、出場13チーム・52名が2ゲームで腕を競いました。

ゲーム終了後、清掃会館へ移動し表彰式&懇親会。団体戦、個人戦の上位と個人のとび賞などが表彰されました。

団体優勝は第四地連Aチーム、個人賞で岡澤さんが「ブービー賞」を獲得。「よっ！新会長！ブービーおめでとう！」



坂部副委員長 岡澤徹さん 佐藤晋一さん 瀨瀬朗さん

のヤジがあったとか。かなかったとか。退職者会の参加者は、佐藤副会長、岡澤副会長、瀨瀬幹事の3名、本部坂部副委員長に助っ人を頼みました。

ちなみに、退職者会の成績は、会員の参加が3名だったため、団体戦は公式記録扱いされないそうです。その方が良かったかも…。

5年ぶりの笑顔につられて 二日酔い（退職者会山柳）

笑顔、笑顔の懇親会も楽しく、若い人たちと交流できたことが何よりの成果でした。

さて、5年ぶりのボウリング大会、参加者は衰えも感じました。無謀にも「退職者会の予選会をやるう」との声も出ていますが、さて、どうでしょうか。



岡澤さんがブービー賞ゲット！

団体戦優勝の第四地連Aチーム

厚労省、年金「財政検証」結果公表

5年前の検証時より見直し改善  
基礎年金納付期間5年延長見送りの案

7月3日、厚労省は社会保障審議会年金部会に、年金「財政検証」結果を提示しました。

厚労省提示内容の特徴点

厚労省は、①「過去30年間と同程度の経済状況が続いた場合」でも、60年度時点の「年金額所得代替率（現役世代の

4つの経済モデルに基づく試算

|               | 実質賃金<br>上昇率 | 実質経済<br>成長率 | 2060年<br>所得代替率 |
|---------------|-------------|-------------|----------------|
| 高成長実現ケース      | 2.0%        | 1.6%        | 56.9%          |
| 成長型経済移行・継続ケース | 1.5%        | 1.1%        | 57.6%          |
| 過去30年投影ケース    | 0.5%        | △0.1%       | 50.4%          |
| 一人当たりゼロ成長ケース  | 0.1%        | △0.7%       | 37~33%         |

\*「高成長実現ケース」は高賃金になるため、年金の所得代替率は「成長型経済移行・継続ケース」と逆転する。  
\*「一人当たりゼロ成長ケース」は、2059年に積立金が枯渇、完全賦課方式になり所得代替率は激減する。

オプション試算1「被用者保険適用拡大」

- ①被用者保険適用対象企業規模要件廃止、5人以上個人事業所非適用業種解消…約90万人
- ②短時間労働者賃金要件撤廃または最賃引上げによる同等効果発生…約200万人
- ③5人未満個人事業所適用事業所化…約270万人
- ④所的労働時間週10時間以上全被用者適用…約860万人

|               | 現行のまま | ①     | ②     | ③     | ④     |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 成長型経済移行・継続ケース | 57.6% | 58.6% | 59.3% | 60.7% | 61.2% |
| 過去30年投影ケース    | 50.4% | 51.3% | 51.8% | 53.1% | 56.3% |

平均年収に対する夫婦二人のモデル世帯受給年金額の割合、現在の率は61・2%は法令で決めている50%を上回る、

オプション試算2「基礎年金拠出期間延長」

\*基礎年金拠出期間を現行の40年(20~59歳)から45年(20~64歳)に延長、拠出期間延長に応じ基礎年金を増額する。

|               | 40年加入モデル | 45年加入モデル |
|---------------|----------|----------|
| 成長型経済移行・継続ケース | 57.6%    | 64.7%    |
| 過去30年投影ケース    | 50.4%    | 57.3%    |

②前回の財政(19年)



検証時より見直しは改善、③若年層の年金は相対的に高水準になるなどとしています。今改訂の焦点の一つ、「基礎年金拠出期間の延長」については、「他の対策で年金制度の維持は可能」として導入に否定的見解を示しています。負

年金額の将来見直し

各年代(現50歳、40歳、30歳)が65歳になったときの年金額

|               |    | 2024年 | 2039年 | 2049年 | 2059年 |
|---------------|----|-------|-------|-------|-------|
|               |    | 現65歳  | 現50歳  | 現40歳  | 現30歳  |
| 成長型経済移行・継続ケース | 男性 | 14.9  | 15.6  | 18.0  | 21.6  |
|               | 女性 | 9.3   | 10.9  | 13.2  | 16.4  |
| 過去30年投影ケース    | 男性 | 14.9  | 14.1  | 14.1  | 14.7  |
|               | 女性 | 9.3   | 9.8   | 9.9   | 10.7  |

制度改善へ論議を注視

担増を嫌う財務省の意向が強くと働いたものと思われま。オプション試算に盛り込まれた「65歳以上の在職老齢年金の仕組み撤廃」は、「所得代替率への影響は、報酬比例部分の所得代替率を0.5%引下げる。働く年金受給者の給付が増加する一方、将来世代の給付水準が低下する」という微妙なコメントを示しています。

年代層別「年金額の将来見直し」が示されました。「年金は大丈夫」と若年層を訴えたかったのでしょうか。見直し好転の主な理由は被用者保険適用拡大の成果ですが、実質賃金や出生率の設定などに甘さもあり、楽観視はできません。また、この統計から、現在30歳未満の世代よりも就職氷河期世代こそ問題であることがわかります。この世代の高齢期貧困層爆増が懸念されます。年金制度改定は、今回の「財政検証」結果を踏まえた議論を経て、年末頃に成案が示されます。議論の成り行きを注視していくことが必要です。

# 認知症とどう向き合うか 自治体退職者会東京都本部の学習会

5月31日、田町交通ビルで、自治体退職者会東京都本部の学習会が開催され、「認知症の現状と課題」と題し、NPO「Dカフェネット」代表の竹内弘道さんの講演を聞きました。

## 「介護保険制度」創設により 介護の社会化が実現した

2000年に介護保険制度が作られ、介護が社会化されました。それ以前の介護は家族がするものでしたが、施設介護（特養、グループホーム）や在宅介護（デイサービス、訪問介護）が中心となりました。

まず、社会化された介護は、地域包括センターに電話相談することから始まります。地域包括センターは各市区町村に中学校の学区程度の広さごとに設置されています。医療と介護の司令塔の役割を果たしています。

## 認知機能の異変を最初に 感じるのは本人、取り繕う

認知症の治療薬は効果不明で、当面期待できません。

認知症に気づく点は「同じことを何度も言う」「話のつじつまが合わない」「日付がわからない」「いつも探し物をしていない」「言い訳をする」「人のせいにする」といったものがあります。認知症の異変を最初を感じるの本人です。それを取り繕うので、周囲とずれが生じます。

認知症の人が行方不明になると、近所の人たちが手分けをして探すことがあります。警察に任せるべきですが、警察に任せるべきです。駅で前の人についていってホームに入り列車に乗り、とんでもないところで見つかるということもあります。

## 認知症の世界は短期記憶の ジグソーが欠けた状態

症状としては、「記憶」「時・場所・人の見当識（状況把握）」「視空間認識」などが障害されます。それらへの不安から、状況により（人により）、「無気力」「怒りやすくなる」「徘徊



「幻覚」「ものを盗られたなどの妄想」のようなものが現れます。

人の脳は、経験の記憶に基づいて世界を構成します。認知症の世界は、短期記憶のジグソーが欠けたような状態なのです。

認知症の人の感性は鋭くなっています。悪い感情を持たせないよう、横からではなく、正面から笑顔で応ずることが大切です。嘘も方便でひと安心させることができます。

## 認知症は平穏な死を迎える 人生の終わりへの適応

認知症は癌の痛みも軽くなり、モルヒネに匹敵する効果があるとみる医師もいます。認知症は、平穏に死を迎える人生の終わりへの適応です。

## 認知症キーワード

- （講師の「レジメ」より）記憶は残らない。しかし、感情は残る。
- 「何を語っているか」よりも「なぜそれを語っているのか」を想う。
- 認知症は人生の最終章への適応である。（岡澤徹記）

# 横田基地はいらない！ 6・22集会とデモ

6月22日、横田基地反対集会が福生公園で行われ、横田基地前をデモしました。

主催は「米軍基地反対実行委員会」。全労協中心で労組は清掃、東水労、東京東部労組など、各地で基地反対の取組みを行っている方たちも参加。

集会では、屋久島で墜落したオスプレイCV-22の横田基地からの撤去、PFASの流失が疑われている基地問題を糾弾し、岸田大軍拡反対、安保・日米地位協定の問題も指摘。

あわせて、沖縄辺野古新基地建設反対、ウクライナ戦争反対・ガザ虐殺糾弾などを掲げ、横田基地正門前をデモ、米軍と自衛隊に対する要請を行いました。（森 遵記）



# JALは解雇争議を早期解決しろ！

人員整理の目標数を達成していながら、「もの言う労働者」切りを目的とした不当解雇事件JAL争議は、早くも14年目、会社側に解決へ向けて踏み出させようと、6月11日、本日前集会が行われました。

## ゼロ回答を繰り返すJAL

集会では、「話し合いで解決したい」と言いながらゼロ回答を繰り返す会社側を厳しく指弾する発言が相次ぎました。



会社側は都労委で『「あつせん」により解決したい』むね表明（1・18）し、5月23日の審判では、労組側「解決案」に対する回答を示すことになっていました。（社長交替などの）新体制になり検討期間が必要」とし、2ヶ月の猶予期間後の回答でしたが、その内容は従来の主張を繰り返す「ゼロ回答」でした。

## 早期解決実現へ闘う決意

JAL彼解雇者労組の山口委員長は、「安全上のトラブル続出で問題山積みのJALは、役員の一線で経営体質を抜本的に変えるチャンスだったが、体質は全く変わっていない。『話し合いで解決』と言いながら『ゼロ回答』を繰り返すのは許しがたい。早く争議を解決し、一体となって安全運航に邁進するため、粘り強く取組む」と決意を表明しています。

争議の早期解決へ向け、東京清掃は6・11集会に「闘争指令」を発しました。この日も多くの仲間が集まりました。

# 岸田政権は解散し国民に信を問え！

6月23日の国会会期末を前にして、6月の「総がかり19日行動」は、いつもと異なり国会正門前で開催されました。

## 改正政治資金規正法はザル

主催者挨拶は平和フォーラム共同代表の染裕之さん。「岸田首相は党首討論で『憲法審議会で改憲発議へ議論を進めろ』と発言した。『緊急事態条項』に改憲5党派はのめり込んでいる。『緊急事態』を活用し独裁を築いたヒトラーの教訓を忘れるわけにはいかない。改正政治資金規正法与党案は何ら本質を変えない小手先のザル法。岸田政権は国民に信を問うべきだ」と訴えました。

## 自治法改悪を許さない

市民の発言トップは、保坂展人世田谷区長。国による自治体への指示を可能にする自治法改悪に触れて「コロナと災害対策を理由にしているが、コロナ初期段階の国の対応は間違えだらけで、自治体が苦勞して方策を考えて国の施策

にさせた例も多い。地域のことは自治体が一番知っている。国・地方平等の原則をないがしろにする上意下達の態勢で自治体を行かせようとする悪法だ。自治体主権を取り戻すため、政権交代により廃止させよう」と問題提起しました。

続いて、『改憲問題法律家6団体連絡会』は、改憲阻止の取組み強化を、『都知事選候補者選定委』の宇都宮健児弁護士は、「市民と立憲野党の候補として蓮舫さんを推薦した。人権感覚のない小池都政を転換させよう」と訴えました。

